

5 指導過程

段階	学習内容・活動	時間	形態	○教師の支援・留意点 評価
課題把握	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>古代から中世へ ～歴史の節目を探ろう！～</p> </div>	5	一斉	○ 古代・中世の節目と平安時代・鎌倉時代の節目が重なっていることに気付かせ、「前後における変化は何か」考えさせる。
課題追究	<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) これまでの学習を振り返って、歴史の節目となりそうな事象を列挙する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>① 保元の乱 ② 平清盛（太政大臣） ③ 守護・地頭 ④ 源頼朝（征夷大将軍） ⑤ 承久の乱</p> </div> <p>(2) 5つのできごとから1つ選択しその根拠を記述する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <p>① 実力が認められ、武士が中央の政治に進出するようになったから。 ② 武士による最初の政権が誕生したから。 ③ 武士による全国支配のしくみができあがったから。 ④ 武士が政治のトップの存在であることを天皇から認められたから。 ⑤ 武士(幕府)の力が天皇(朝廷)の力を上回ったから。</p> </div> <p>(3) 同じ事象を選択した者どうしで交流し、さらに考えを深める。</p> <p>(4) お互いの意見を交流する。</p>	3 5	一斉 個人	<p>○ 後の交流活動を焦点化するために歴史的事象をあらかじめ5つに絞りこんで提示する。</p> <p>○ 選んだ理由について、「武士」という語句を使ってワークシートに記入させる。</p> <p>○ できごとの前後の変化に着目させたい。</p>
まとめ	<p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の課題について最終的な自分の意見をまとめる。</p> <p>(2) ワークシートを提出する。</p> <p>(3) 次時の予告を聞く。</p>	1 0	個人 一斉 一斉	<p>○ 交流した内容を踏まえて最終的な考えを再構成させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>B：既習事項をもとに、歴史の節目を選び、選んだ根拠を明確にして記述することができる。 (ワークシート)</p> <p>☆：机間巡視により個別に声をかけ活動を支援する。</p> </div> <p>○ 一つの事象に決めきれないという考えも認め、歴史を見る目を養っていききたい。</p> <p>○ モンゴルの襲来と鎌倉幕府滅亡との関連について学ぶことを伝える。</p>